

2015 明治安田生命 J2 リーグ
第4節

vs. ツエーゲン金沢

3/29 13:00 kick off
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

2015J2

■順位表■第3節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	岡山	7p	+4	5	1	A●
2	千葉	7p	+3	4	1	
3	横浜FC	7p	+2	4	2	
4	磐田	6p	+3	5	2	
5	讃岐	6p	+2	3	1	HO
	長崎	6p	+2	3	1	
7	札幌	6p	+1	4	3	
8	大宮	6p	0	4	4	
9	C大阪	5p	+2	5	3	
10	熊本	5p	+1	3	2	
11	愛媛	4p	0	2	2	
12	東京V	4p	-1	3	4	
13	徳島	4p	-1	1	2	A●
14	金沢	3p	+1	4	3	
15	京都	3p	-1	4	5	
16	北九州	3p	-2	3	5	
17	岐阜	3p	-3	1	4	---
18	栃木	2p	-1	3	4	
	群馬	2p	-1	3	4	
20	大分	1p	-3	1	4	
21	水戸	1p	-4	0	4	
22	福岡	0p	-4	3	7	

次回HomeGame

第6節 vs.セレッソ大阪
4/5(日) 13:00
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場



本庄工業株式会社
<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23
tel:058-273-8998

ALADDIN

何も無い店だけど..
心の花が咲く..
何も無い店だけど..
心癒される..
忘れかけていた喫茶店がある
岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

today's guest : ツエーゲン金沢

2014 J3 23勝6分4敗 勝ち点75:優勝

直近の対決と結果	
2008/10/12	天皇杯3回戦@富山
岐阜 1-0 金沢	
相川進也	scored.

ここ3試合の公式戦の結果			
FC岐阜		ツエーゲン金沢	
2015/03/21	J2-03節@鳴門大塚 徳島 1-0 岐阜	2015/03/20	J2-03節@石川西部 金沢 1-2 横浜FC
2015/03/15	J2-02節@長良川 岐阜 1-0 讃岐	2015/03/15	J2-02節@石川西部 金沢 3-0 東京V
2015/03/08	J2-01節@Cスタ 岡山 3-0 岐阜	2015/03/08	J2-01節@NACK 大宮 1-0 金沢

ツエーゲン金沢:

1956(昭和31)年創設の「金沢サッカークラブ」が母体の歴史あるクラブ1982(昭和57)年に北信越リーグ昇格も3年で降格、3年後に再昇格後はずっと北信越リーグで戦い、2002(平成14)年には北信越リーグ2位で地域決勝に初出場。2006(平成18)年より現名称に改名(ドイツ語で「2」の「Zwei」+「行く」の「gehen」の造語で金沢方言の「強いんだ」の謂の「ツエーゲン」と読む)。以後、数年に亘り北信越リーグ1部で松本山雅・長野エルザ(現・長野パルセイロ)・JAPANサッカーカレッジの4チームと熾烈な上位争いを繰り広げる。2009(平成21)年度の地域決勝で3位となり、FC刈谷とのJFL入替戦を1勝1分で制しJFL昇格。2014(平成26)年創設のJ3リーグに参戦し初代王者。J2ライセンス保有しており、今季よりJ2昇格。(吉田铸造)

●3/15(日)第2節は、讃岐相手にホーム開幕戦を勝利で納めることが出来たFC岐阜。非常に苦しい試合だったが、まずは1勝することがリーグ戦では大事なこと。これで選手たちは自信を深めてくれることだろう。続く3/21(土)第3節は、アウェイに乗り込んで昨シーズンJ1の徳島との対戦。ほぼ互角に戦っていたものの試合終盤に失点してしまい、惜しくも敗戦。これで3試合を終えてのFC岐阜の成績は1勝2敗1得点4失点、17位となった。順位自体は去年の最終順位と同じであるし、まだシーズン序盤なので心配することはないが、まだ1得点なのが少し不安材料だろうか。徳島戦では守備面での向上が見えてきた。次は攻撃陣の活性化を是非とも期待したい。

さて、今節の対戦相手はツエーゲン金沢。J3初代王者となり今季からJ2に昇格してきたチームだが、既に1勝を挙げて得失点差で現在14位、油断できる相手ではない。とは言え、順当に考えれば今年の「降格候補」筆頭チームであることも事実だ。リーグ戦の基本、特に残留争いから抜け出すためには「残留争いをしているチームとの直接対決で必ず勝つ」ことが非常に重要だ(それは、これまでのFC岐阜のJ2残留争いの歴史からも明らかだ)。だとすればこの試合、決して負ける訳にはいかない。

金沢の攻撃陣では、まずは4得点の内3得点を挙げているセットプレーに警戒しなくてはならない。その多くを蹴り、1ゴール1アシストを決めている#15辻尾真二の精度の高いキックには要注意だ。キャプテンを務める#7清原翔平も2ゴールを決めて調子を上げているし、高さのある#13水永翔馬にも警戒が必要だ。また#10佐藤和弘は、U-16代表経験を持つ多治見市出身(磐田ユース)の選手だ。地元・岐阜への凱旋に気合いが入っているだろうし、同年代の#19益山司とのマッチアップにも注目したい。守備面では、4年目となる森下仁之監督の元で磨きをかけてきた堅守に加え、山形一筋でJ通算360試合を経験している大ベテラン・#30秋葉勝がレンタル移籍でボランチに納まっている。対する岐阜の大ベテラン・#8宮沢正史とのボランチ対決も一つの見どころだろう。

隣接県ということで練習試合では何度も対戦しているが、公式戦の記録は2008年天皇杯の対戦だけの岐阜と金沢。当時はJ2と北信越1部とカテゴリーも違うし参考にならないが、今回もJ2の「先輩」として、しっかり勝ちきりたい試合だ。ましてや今節はホーム戦。スタジアム全体で選手をしっかりと最後まで後押しして、そして最後には勝利の歓喜を選手たちと共に分かち合おう。(ささたく)



「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。休:月曜日

投稿募集!!

gidaidohri@hotmail.co.jp

【第2節】岐阜 1-0 讃岐

●いやぁ、野球の野村監督じゃないけど「勝ちに不思議の勝ちあり…」って言いたくなるような試合（苦笑）。正直、よく勝てたなぁ…（苦笑）。今年の讃岐も、3/2の開幕戦よりは7/26の第23節の方が明らかに「強くなってる」という実感があつたのを、今さらながらに思い出しました。あの時も、#1 GK 川口能活のPK阻止のビッグセーブがなければ同点、下手をしたら逆転負けしていたかも…そして讃岐は1年間の残留争いと、長野との入れ替え戦を制して、更に強くなっていた（と思う）。開幕戦で大分に勝って、（その後の第3節で）磐田に勝つのも納得のチームかもしれない。

ホーム開幕戦なのに、試合開始直後からいきなり決定機を与えてしまう岐阜。たしか「失点を減らすために守備陣を中心に補強した」ハズなんだけどなぁ…（溜息）。岡山戦の時もそうだったけど、ベテランが多いのに何故かミスが多くバタバタしているように見える。ひょっとして「船頭多くして船山に登る」とってヤツで、守備のリーダーが多すぎるのかしら？なんて考えまで浮かんでしまうぐらい（苦笑）。それでも、前半10分に#24 F W 難波選手が、#6 高地選手のミドルの跳ね返りを押し込んで待望の今季初ゴール！これは嬉しかったし、（岡山戦で得点力不足の不安を感じてた僕は）ホッとした。#8 M F 宮沢選手の第2子誕生を祝う「ゆりかごダンス」も披露して、さぁこれからは岐阜が勢いを…と思ったのに、再び讃岐のペースで運ぶ試合…それでも、なんとか前半を無失点で終えることができた。

後半は、開始早々は岐阜が何度か得点チャンスを作っていたんだけど、再び徐々に讃岐のペースに…（溜息）。しかし、何度となく危険なシーンを迎えながらも、粘り強く守るDF陣。個人的に僕が「助かった」と感じたのは、讃岐側が#20 アンドレアの個人技に頼って単調にボールを放り込む、いわゆる「戦術：アンドレア」の時間が続いたこと。これには岐阜のDF陣も複数マークなどで対応できていた。岡山みたいに、途中投入した#23 木島徹也 & #33 木島良輔の“木島兄弟”に、何度も裏に抜ける戦術をずっとやられていたら危なかった…（苦笑）。あと、シュート数が岐阜6本に対して讃岐は11本、ところが枠内シュート数は両チームとも2本ずつ。要は讃岐の決定力不足・シュートの精度不足に助けられたということも出来るかもしれない。

最後のワンプレーもボールがクロスバーに当たってドキリとさせられたが、なんとか試合終了。勝つには勝ったし、負けるよりは勝つ方が断然良いに決まっているけど、僕にとっては、課題が多すぎて、ほろ苦い今シーズンの（そしてホームでの）初勝利だった。

（ささたく）

●長良川での名古屋戦。アウェイでの岡山戦。連敗したとはいえ、いずれもPSM。「この讃岐戦こそがホントの今季開幕戦だ。」そう言えるといいなぁ、などと思いつつ臨んだホーム長良川での開幕戦だったが……。試合後の感想はただ一つ。「勝つことができて、本当によかった。」ただ、それだけ。

ホント、よく勝てた。よく勝ち点3を手に入れてくれた。そこは選手をほめたい。でも、それだけ。前半早々に得点したのはイイが、それ以降は讃岐にほぼ主導権を握られ、後半に至っては、ほぼハーフコート・マッチ。開幕戦で大分を2-0と完封。昨季とは違うゾ？と感じて観戦していたけど、実に組織立った意図のある攻撃を繰り返していたように思う。負けたことに納得してはいないだろうが、こういう試合なら讃岐サポもちゃんと拍手できるんじゃないだろうか。

一方、こちらとしては試合後の挨拶に訪れた選手に拍手を贈る気になれず……。もちろん、手を抜いていた選手はいない。いないが、讃岐とは真逆な意図の感じられない試合運び。一点リードの終盤でCKをキープするかと思えば、カウンターを仕掛けるのはいいが強引なシュートで逆にカウンターを食

らうなど、チグハグさが目立ったのが気にかかる。ジュンキがエンジン全開になるのはもう少し先か。あと、高地。全体を通してガンバってくれたし、途中で傷んだにもかかわらず最後まで戦い抜いてくれたのは感謝する。だが、あのパスミスには肝が冷えました。クロス・バーさん、ありがとう……。今季も厳しいシーズンになるのはわかっている。残留するために勝たなければならない当面の敵。そう思っていた讃岐相手に内容はどうであれ、勝ち点3を取れたのはよかった。これで、昨季から讃岐には3連勝。だが、対戦することに内容が厳しくなっている。正直、今季の讃岐は台風の目になるかもしれない。ホントに勝ててよかった。

次のホームはJ3初代チャンプの金沢。残留のために、どうしても勝たなければならない相手第二弾。しかし、開幕戦での大宮との接戦、3-0と東京Vを完封した第2節を見る限り非常に厳しい試合になることは間違いない。それでも、ここはホーム長良川。気合を入れ直して試合に臨んでほしい！（ぐん）

●開幕戦の岡山相手のやられっぷり、そして相手の開幕戦での出来をスカパー！でダイジェストで見てかなり不安になりながら臨んだホーム開幕戦。屋台村で対戦相手の讃岐サポさんとちょっと交流したのだけど、彼らの着ている『讃岐鬼誠会』の（おそらくは）オリジナルのTシャツのインパクトといたら（笑）。背中側は、現・ケルンの大迫勇也で有名になったセリフのモジリで「MAKOTO HANPA NAITTE!」。北野誠監督に対する絶対的な信頼。そして、そんな彼らから感じたのは昨年と違った『自信』だ。入替戦にまわったとはいえ、厳しいJ2を生き残り、そして今季の開幕戦を大分相手に快勝して堂々と長良川に乗り込んでくる。そんな『自信』は、サポだけでなく選手も同じだろう。「簡単な試合になるわけがない」と、その時に思った。

そして、試合はまさに『勝ちに不思議の勝ちあり』という内容で勝ち点3を得た…という感じ。確かにシュートの跳ね返りにキチンと反応した難波さんはさすがの嗅覚だった。けれど、試合開始からアンドレアの動きに対して深谷はほぼ完敗。アンドレアがサイドに流れてくるのは讃岐の戦い方としては一貫してるのに、そこにCBが引っ張り出され、ゴール正面で張ってる我那覇とのギャップを2列目で使われてしまう。どうなることかと。でも、前半の途中からアンドレアのケアをツカサが戻って対応するようになってそのギャップは埋まった。ベンチから指示が出たようには見えなかったのが、ラモス監督のいう『ピッチ上の監督』が仕事をしたのかな（笑）。試合終盤の絨毯爆撃も相手のシュートが枠はずれてくれたりでなんとか凌ぎきっての1-0勝利。爆撃を受けている時にDFラインが必死で跳ね返したボールを最前線の難波さんが3秒でもキープしてくれたら守備隊はかなりラクになるのだけど、難波さんはそういうタイプのFWじゃないし、そこまでは無理かなー。

というわけで、「ウチは勝ったけど『修正点いっぱい夢いっぱい』」一方の讃岐は「負けただけ修正点なし、自信を持ってこのサッカーをやればいい」という試合だった（実際、次の試合ではそのままのサッカーで磐田に勝ってしまったし）。もちろん、こういう状況でキチンと勝ち点を拾えることが岐阜にとっては大事なのだし、それがJ2残留へとつながっていくのだけど、やっぱり「今季の岐阜の目標は『残留』だよなぁ」と再確認出来た、そんな試合だった。

（吉田铸造）

【第3節】徳島 1-0 岐阜

●そりゃ徳島は、昨年ダントツの最下位で降格したけど、そして今年は大幅に選手を入れ替えたけど、それでも昨年J1のチーム。その徳島との通算対戦成績は（天皇杯を含めて）5勝2分9敗、14得点27失点と負け越しているのは仕方ないけど、ここポカリスエットスタジアムでは1勝7敗4得点20失点と、さらにボコボコにやられてまして（苦笑）。でも、その徳島が（相手が優勝候補という訳でもなく）2戦未勝利と苦しんでいる。いやあ、サッカーって怖いなあ…そして、今なら徳島を倒せるかも！と臨んだアウェイ戦だったのだけど…（溜息）。

岐阜のスタメンは、キャプテンの#4深谷友基に替えて、今季初出場の#2阿部正紀。結論から言えば、この起用がズバリと当たったと思う。やっぱり（経験の総量差があったとしても）昨年1年間ずっと出場し続けた阿部と、怪我で数試合しか出場していない深谷では、現在は試合勘が違うということなのかな？それとも、ストッパータイプの阿部を入れることでCB2人のバランスが良くなったのかな？徳島の攻撃陣が良くなかったという要素もあるんだろうけど、的確にボールを跳ね返し、シュートを防いでいた。（まだ1試合だけど）守備が安定したのは大きな収穫だと思う。

ただ、攻撃が…何と言えいいのかな、「他人任せ」になっている場面が多かったような気が。相手選手がマークしている味方（特にサイド方面）にボールを預けて、あとは個人技での突破に任せる…そんなプレーが少し気になった。ラモス監督から今季はサイド攻撃を重視するよう指導されてるからだろうけど、そんな正直にサイド攻撃ばかり狙うんじゃないくて、スペースが空いてる中央突破も仕掛けなきゃ、相手にサイドを固められちゃうんだけど…（苦笑）。逆に言えば、最大の決定機はサイドから中央にスライドしてきた時だった。ここらは、もう少しチーム内での意思統一というか、臨機応変さが欲しいと感じた。

試合は一進一退。互いにゴールを決められないまま、これはドローかも…と思ったところに魔が潜むんだよね、サッカーは（溜息）。82分にワンチャンスをもつた木村祐志に決められ、無念の敗戦。あーゆー難しいバランスの試合で勝ち点1を持って帰るといふ仕事は、ちょっとルーキーの#27荻部選手には厳しかったかな…悔しいだろうけど、これを良い経験としてさらに成長して欲しい。それと、スタメン外の選手層を厚くしないと今後のリーグ戦は厳しいってことも痛感させられたかな。

ちなみにJ1仕様に改装されたポカスタの初参戦。季候が良かったのか大型化されたバックスタンドの影響か、今まで感じてた強風が和らいでたり、屋根の影響で声がよく響くようになってたり。でもメインスタンドがほとんど屋根無しで、バックスタンドと逆じゃないの…って思ってたんだけど、雑談した徳島サポさんによると、「メインもこれから屋根を付ける計画があります」とのこと。まさにリアル“サカつく”ゲーム（笑）。いつになるのかは知らないけれど、さらにグレードアップしたポカスタも楽しみだ。

（ささたく）

●二年ぶりのポカスタは、改修工事で雰囲気が変わっていた。バクスタには屋根がつき、芝生席だったのが全面椅子席に改装。ポカスタは海に近い。だから、いつでもキツイ海風が吹き抜けている。そんな印象を持っていたんだけど、新設された屋根のおかげか、その名物がさほど感じられない。そんなポカスタらしからぬ状況。まあ、単に風の穏やかな春の一日だったのかもしれないが。ただ、メインには全く？手を加えられていないようで、相変わらず直射日光を受けながらの観戦になる仕様。バクスタの方が見栄えがいいってのはどうなんだろう？メインにも屋根をつけたらよかったんじゃないか？などと、余計なお世話的なことを思ったり。

さて、肝心の試合の方は、またしても敗戦。J参入初年度の08シーズン以来勝つことができていない鬼門のスタジアム。だが、ここんとこ0-3とか1-4で大敗していたのが、80分までイーブン。なんとか試合になったのはよかった。そうしておくことにする。内容的には最終ラインが落ち着いた感じ。正紀が、今季初スタメンながらよく締めてくれた。あとは攻撃だが、当分はこの状況が続くだろうという印象を受けた。ボールを預ければ単騎でもなんとかしてくれそうだった昨季と違い、今季は全員でビルドアップしてゴール前に人数を掛けるというスタンス、だと思ふ。チームとしての組織力、連動性を高めるためにはもう少し時間が必要なんだろうな。自分自身にも長い目とガマンが必要だと感じた次第。ただ、この試合も、もっと積極的にシュートを打って欲しかった。が、コースがなかったんだ、ということにしておく。徳島がしっかりカンヌキをかけていた。やはり、J1での経験はダテじゃないんだ、とホメておこう。というより、今日は全部エステバン。彼一人にやられたような気がする。ことごとく、セカンドボールを拾われたうえにこちらの攻撃をポイント、ポイントで寸断された。それ以外の徳島はたいしていい出来じゃなかった。この徳島から勝ち点を挙げられなかったのは残念だ、とも言いたい。

総括すると、よかったとは言えないが、前節までの2試合と比較して、悪くもなかった。やっと、まともな試合ができた、ってところかな？ところで、ロドリゴとレオミには、もっとアゲてきて欲しい。アゲてきてくれるよね？（ぐん）

【セカンド】 “全国”への挑戦が始まります

●もしかしたら、これまでFC岐阜 SECOND（以下『セカンド』）の選手がトップと同様にクラブ公式サイトで顔写真入りで紹介されたのって初めてじゃないか？トップのラモス監督のご子息が監督になったから……なあんてね（苦笑）。とにかく、いままでセカンドがあまりに“軽く”扱われていたという印象があるので、この変化は大歓迎。現在トップチームに所属する遠藤純輝、比嘉諒人、尹昌洙は（鳥取にレンタル中の田中智大も）セカンドからの“昇格”組。セカンドもよろしくお願ひします。

さて、今年も4月は「全国へのカップ戦」の季節。全国社会人（全社）・天皇杯社会人ブロックの県予選です。昨季は天皇杯に岐阜経済大学が出場したため、これまでだと今季は天皇杯最終予選の社会人ブロックの枠は1…なんですが、今季から天皇杯に「2種（高校、ユース）」の枠がなくなったんで、もしかしたら社会人枠は2つのままかも。どっちにしる、この県予選で決勝まで行かないと全社東海予選には進めないし天皇杯への道も断たれます。昨季は東海1部リーグ所属のセカンドが県予選の準々決勝でPK負けで敗退し、4月に全国への夢が消えるという予想外の事態。今季はそんなことのないように！

大会は今日からスタート（セカンドの相手は県1部のモリシズ）。県予選決勝は5/3の11:00から長良川メドウです。※大会トーナメント表もクラブ公式サイトに載っていますので時間・会場などはご参照ください。

（吉田鑄造）

